

「若者」で考える武蔵野のカイゴ

若者プロジェクト(仮称) 第3回レポート 名称決定!そして「介護職の服装、身だしなみ」



若者プロジェクト(仮称)とは?

市内の39歳までの介護職の方々が、地域の「カイゴのシゴト」をより良いものにするために交流し、学び合い、主体的に活動することを目的としたプロジェクトです。情報共有から、介護業界のイメージアップに関することまで…自由な発想で、新たな風を地域におこします。

11月11日(月)、3回目の集いが開催されました。嬉しい事に初参加の方も多し一方、お仕事の都合でなかなか続けてご都合あわない方も…開催時間帯や場所にまだまだ課題の多い本プロジェクトですが、なにより続けられることを大切に、のんびり皆さまと育てていくことができればと思います。

遂に名称が…!

さて、これまでずっと(仮称)でやってきたこのプロジェクト、ようやく名称が決まりました!

プロジェクト 若ば

メンバーから挙げた案、そして選んでいただいた案をもとに決定しました。若葉の「ば」は《若い「葉」と若者の「場」という意味》から、ひらがな表記です。次回皆さまに報告のうえ、今後はこちらの名称となりますので宜しくお願いいたします。

今回のダイジェスト

今回参加したメンバーの所属事業所

Dai-job high、ハウスグリーンパーク、ケアワーク北多摩、親の家、三鷹ナースヘルパーセンター、NPO グレースケア、北町高齢者センター

毎回、高齢者福祉・障害者福祉を問わずご参加されています。今回は改めて人材育成センターの紹介などしたのち、研修やイベント、取り組みなどについてのご案内もいたしました。そして、メンバーの方からも講演会の案内がありました。メンバー間の情報共有については今後も積極的に行ってまいります。

また、この会について「ぜひ事業所内での周知を図ってほしい」旨もお話いたしました。メンバーそれぞれが介護の現場にこの会の存在を伝達し、より多くの方に注目される会に育てていくことが出来ればと思います。

今回の小腹満たしはミスタードーナツ×中村屋コラボの「グルメパイ」。ちょっとイイ箱に入ったパイの種類はピーフシチュー、クリームシチュー、四川麻婆豆腐、そしてカレー。意外にも本格的なお味でした。お口直しにフルーティなグミも。



前回同様、グループごとに意見交換していただきました。それぞれのサービスによって異なる価値観、介護職イメージも。

介護職の服装、身だしなみ…どう思う?

意見交換のテーマは「介護職の服装、身だしなみ」。3つの項目について話し合いました。各項目についてメンバーのお声を一部お届けいたします。

①各事業所のユニフォームの有無、身だしなみに関するルールについて

- ・職員の自己判断に任せている。「なんとなくわかるかな?」と曖昧になっている。
- ・事業所に身だしなみのマニュアルがある。
- ・ユニフォームはないがポロシャツ、白シャツ、チノパンなど。
- ・厳しく決められていると離職にもつながる、寛容な方がプライベートと両立しやすい。
- ・ジーンズは日ごろ履いている、クレームも特にない。接する時の気遣いや清潔感が大事。
- ・あえて利用者の方との話題になるようなTシャツを着てコミュニケーションを図っている。
- ・大学生アルバイトの人もいるので、私服に近い恰好。
- ・ユニフォームがあると切替えができる
- ・会社に所属しているという責任感を感じる。
- ・ユニフォームがあると楽。 など

②利用者からみてどのような介護職の印象がいいと思うか。

- ・施設やご本人の希望によってはおもてなしのような、「お客様」の関係。
- ・緊張しない、気楽なアットホームな関係。
- ・かしまってしまつと介護される側が緊張してしまう。
- ・本人の生活によりそつた雰囲気。
- ・清潔感。
- ・利用者や家族などから「介護は大変でしょう」「かわいそう」と言われてしまう。排せつ介助のイメージからなのか。そんなことはない、という気持ちがある。前向きな印象を。
- ・服も身だしなみもその人らしさを大事にしたうえで良い印象を。
- ・明るい色合いで、好きな色を選んで着たい。 など

自分たちが普段身に纏うユニフォームや服装についても話があり…メンバーが当日着ていたユニフォームについて「これユニフォームなの!? おしゃれ!」と盛り上がる場面も。また、ポケットの場所など機能性についてもご意見ありました。

マイナスイメージを変えることについては、「服装だけでなく振る舞い、接し方による示し方も含め考えなければならぬ」ということを共有し、また、その際には「自分らしさも忘れずに!」という意見に頷く人も多かったです。

③イメージアップのために各事業所ができる取り組みは?(全体での話)

- ・ユニフォームなどに頼るのではなく、接遇・マナーのスキルで介護職の質の良さをアピール、イメージアップすることが大切。
- ・例えば市内での手引きや指針、マニュアルの例など、各事業所の助けになるもの、レベルの底上げを図るものがあるといいのでは。

グループの話し合いもあっという間に過ぎてしまい、最後に少しだけ③の項目について全体で話をしました。障害者福祉、高齢者福祉それぞれの分野、そしてさらにサービス種別によって身だしなみで重きを置く部分は異なり、事業所の雰囲気によっても様々です。ただ、その身だしなみ+振る舞い方が事業所、業界のイメージに大きく影響することは確かです。ユニフォームによって統一感が出せたとしても、介護スキルがあったとしても、気持ちよく介護され、介護する環境には接遇・マナーのスキルも不可欠。将来を担う若者だからこそ、これからの介護業界を明るくするために接遇・マナーのスキルも意識したいものです。

また、「服装について部下に指示をしようとしてもうまく伝えられない。」「“ちゃんとして”と言ってしまうけれど、その“ちゃん”は人それぞれ。」など、どのように事業所内の意識を揃えるかという悩みの声があがりました(今回参加できなかった事業所の方にも事前にお話伺いましたが、マニュアルがある事業所も効果の実感はそれぞれのようなようです)。

そこから、地域の事業所が基準として参考にできる手引きなどがあれば便利なのでは、という例について話しました。例えば、その手引きをもとに内部で日ごろからセルフチェックしたり、事業所独自のマニュアルを作成したりしやすいのではないか、ということです。

今回も自由に多くのアイデアを戴きました。当プロジェクトや他の研修等でもさらに服装・身だしなみについて取り上げていきたいです。



第3回を終えて

今回のグループでの意見交換は15分程度と短く、皆さまからも「もっとたくさん話したかった」などのコメントをいただきました。業務後の時間帯ではありますが、次回からはもう少し時間をふやして予定いたします。

また、毎回の意見交換等の様子についてはこのように各事業所の皆様へお伝えしていきますので、その際には是非ご覧ください。ご意見等もお待ちしております。

メンバーの感想やご意見(アンケートより)

- ・ざっくばらんに話ができる。
- ・他施設の職員と話す機会がなかったためいい機会になりました。
- ・もう少し全体でお話する時間があれば良いとおもう。
- ・皆さん大変かと思いますが、1回の時間をもっと長く取っていいと思います。

<メンバーに聞きたいこと>

- ・ケアについての話 ・礼儀について ・ストレス発散方法
- ・「若者」っていますか? ・世代が違う職員との関わり
- ・利用者の方に喜んでいただけるケアのコツ
- ・若い人に求められる介護現場とは? など

戴いたご意見は今後の会の運営に活かしてまいります。ご参加いただいた皆さま、ご協力いただいた事業所の方々、大変有難うございました。

次回「プロジェクト若ば」開催

第4回 12月13日(金) 19:00-20:30

@武蔵野プレイス スペースC

2019年最後の集いになります。

★終了後は武蔵境周辺のお店で2次会も検討中。

ご都合の合う方はぜひ!

<内容>

- **意見交換** 介護職の「プライベートと仕事の分け方」
- 人材育成センターお仕事フェア事業「カイゴのシゴト」
コピス吉祥寺前ウッドデッキでのイベントについて 進捗報告
- 情報提供(事業所からのお知らせもお待ちしております)

単発での参加も可能です。参加希望の方は別紙よりお申込みください。用紙がない場合も気軽にお電話ください!

【本プロジェクトに関するご質問・ご意見はこちらまで】

武蔵野市地域包括ケア人材育成センター

(中島・桑谷)

TEL 0422-20-3741 FAX 0422-23-1164

Follow Me!> @m_jinzai